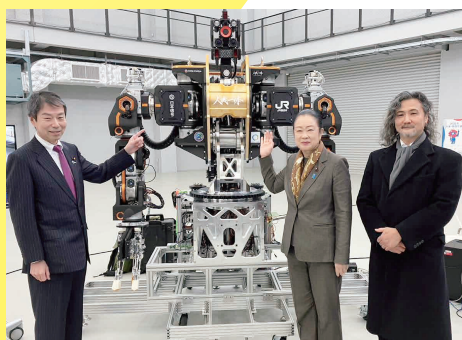


ありのままのことばで語る政治

1.『強い経済と物価の安定』

○責任ある積極財政を通じて
強い経済の実現
○持続的安定的な物価の実現
戦略的財政出動などを通じて強い経済を実現し、所得増加など生活の豊かさを実感できる経済の好循環を生み出します。国民が安心して生活できるよう、持続的安定的な物価を実現します。



福島ロボットテストフィールド

2.『外交・安全保障・経済安保』

○同盟・連帯の強化と防衛力の抜本的強化
○危機管理投資を通じて有事でも強い社会環境・基盤の構築
日米同盟をはじめ、価値観を共有する国々との連帯を強化し、危機管理への投資を通じて社会環境や基盤を整備します。そして、国民の生命・財産、国の領土・領海・領空・資源を守ります。



ラオス建国 50 周年祈念式典にてご挨拶

3.『国土強靱化・防災』

○激甚化・頻発化する自然災害への対策強化
○インフラ老朽化対応
ハード・ソフト一体となった防災・減災・国土強靱化の取り組みを強化します。気候変動の影響を踏まえ流域治水を推進し、住民の命を守ります。自然災害からの復旧・復興を加速させます。



岸田元総理とともに能登の視察

4.『地域活性化』

○デジタル技術の活用
○地域を活性化するインフラ整備
スマートシティ（デジタルを活用して暮らしやすい地域を作る）の構築を目指します。地元の悲願である、地下鉄 7 号線延伸、春日部駅付近連続立体交差事業、東埼玉道路延伸を推し進めます。



東埼玉道路開通式

5.『子育て支援』

○経済的支援の拡充
○事情に応じた支援を切れ目なく
子育てを社会全体で支え、少子化傾向の反転を目指します。児童手当など給付を拡充し、高等教育費や出産費用などの経済的負担を軽減します。子育てに困難を抱える世帯への支援強化と児童虐待防止のため、包括的な相談支援体制を構築します。



岩槻柔道双葉会の鏡開き式

6.『女性活躍・社会保障』

○全世代型社会保障
○女性の政治参加を応援
少子高齢化、人口減社会を克服し持続可能な社会保障を構築します。多様な人材の活用を広め、女性の政治参加を促します。



松伏町防災フェスティバル

●つちや品子プロフィール

1952 年生まれ。春日部市在住。栄養士、料理研究家、フラワーアーティスト、大学・短大客員教授。1996 年総選挙で初当選。衆議院議員 9 期、復興大臣、厚生労働副大臣、環境副大臣、外務大臣政務官、衆議院外務委員長、消費者問題に関する特別委員長、自民党副幹事長、女性活躍推進本部長を歴任。「臓器移植法（議員立法の共同提案者）」「介護保険法」「食品ロスの削減の推進に関する法律」「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の成立に携わる。生活の基盤である「食」が社会保障の充実につながると考え食育を推進している。また、義務教育への環境教育の導入も提言している。

●主な役職歴

- ・日本ラオス友好議員連盟会長
- ・日本アイスランド友好議員連盟会長
- ・日本カナダ友好議員連盟副会長 兼 幹事長
- ・日本パラオ友好議員連盟副会長
- ・日本ニカラグア友好協会理事

- ・全国栄養士養成施設協会顧問
- ・埼玉ラオス友好協会名誉会長
- ・埼玉県栄養士会顧問
- ・埼玉県卓球協会会長
- ・埼玉県フェンシング協会会長
- ・埼玉県ゲートボール協会会長



最新情報はここから！

埼玉 16 区



つちや品子

しなこ

その声を未来につなげる。

元復興大臣

日本再生・子育て支援・防災強化

信頼される政治～つちや品子だからできること

現在、日本と世界は大きな変化を迎えています。だからこそ信頼される政治が必要です。私自身は、初当選時は無所属で活動し、その後自民党に入党した後もどこの派閥にも所属しない無派閥の立場を貫いてまいりました。派閥に所属していなくても、地元を歩き誠実に国会活動を行うという、国会議員として当たり前の活動をするのに何の支障もありませんでしたし、党や内閣の役職に就き経験を積んでいくこともできました。包み隠さず本心をさらけ出し、本当の気持ちや考えを素直に話せる先輩議員や仲間の力を借りながら数々の政策を推進してきました。もちろん、政治資金に関しても一点の曇りもありません。すべて公開しています。政治・経済の不確実性が高まっているからこそ政治には国民の信頼が不可欠です。私 つちや品子は、日本列島を強く豊かにする為に、変化をおそれず、必要な改革を断行してまいります。



人形のまち岩槻まちかど雛めぐりに併せて市内各地でお雛様が飾られています。写真は愛宕神社の大雛壇です。



吉川八坂まつり八坂青年会決起大会でご挨拶しました。



地下鉄7号線要望活動で期成同盟会の皆さんと財務省と国土交通省に陳情に行ってきた。



八潮市道路陥没現場を視察しました。



高市総理に能登復興の申し入れを行いました。



永年在職議員(在職25年)として、衆議院第12委員室に私の肖像画を掲示していただくこととなりました。

経験を力に 現場の声を、真に強い防災国家の礎へ

一昨年まで約一年間、私は復興大臣として東北の再生に全力を尽くしました。被災地の皆様から託された想いは、今も私の政治活動の揺るぎない原点です。大臣退任後も、東北の復興については継続して注視し、現地の課題解決に向けて協力できることは積極的に取り組んでいます。現在は、自民党代議士として衆議院・災害対策特別委員会の委員を務め、激甚化する自然災害から国民の命を守るための抜本的な議論に深く参画しています。大臣時代に痛感した現場のニーズと制度の乖離を埋めるべく、現在は立法府の立場から汗をかいています。私の活動は党内に留まりません。「避難所と避難生活の抜本的環境改善を実現する超党派議員連盟」の会長として、党派を超えた結集を図り、災害関連死を防ぐための環境整備を推進しています。また、能登半島地震の教訓を活かすべく「被災者目線での震災対応を実現する議員の会」の発起人として、制度の隙間に光を当てる政策提言を多角的に行っています。「東北の復興なくして、日本の再生なし」この信念は、大臣を退いた今も変わりません。培った経験とネットワークのすべてを注ぎ込み、この国を、そして皆様の暮らしを、災害から守り抜く。土屋品子は、これからも実直に、現場第一主義で突き進みます。



福島県の農業視察で、葛尾村の佐久間牧場を訪問しました。



三陸鉄道では震災学習列車を運行しています。教訓を後世に伝承していくことは非常に重要です。



福島県広野町のふたば未来学園で学生と交流。先進的なカリキュラムを導入し、「変革者」の育成を目指しています。



風評被害対策としてベトナムを訪問し、東北の製品の安全性と販売促進をアピールしてきました。



イギリスのセラフィールド(稼働停止中の原子力発電施設)を訪問し、廃炉に向けた取り組みを視察しました。



小名浜漁市場では漁協関係者と意見交換しました。被災地を応援するお声に感謝いたします。



しなチャンネル



「食育推進・栄養士資格を持った唯一の国会議員」